

第3回 瑞浪市中山道保存活用計画策定懇談会 会議要旨

■日 時：令和3年7月16日（金） 9時30分から12時00分まで

■場 所：瑞浪市化石博物館（レクチャールーム）

■出席者：秋山晶則、櫻木耕史、可知正己、大竹和夫、小栗司、足立亘
和田光浩、砂田普司（事務局）
荻谷菜々子、株式会社イビスク（オブザーバー）

■議事

3. 意見を求める事項

1) 目次修正について

事務局より資料（別添資料No.1、No.2）に基づいて説明。

- ・修正内容については、事務局案のとおり修正することで差し支えない（全員同意見）。

2) 計画内容（第1章～第4章）について

事務局より資料（別添資料No.2～No.5）に基づいて説明。

◎計画内容全般事項

- ・文書全体の句読点や表現方法等については、再度確認・整理してほしい。また、誤字や文言の統一が図られていない部分も見受けられるため、該当部分を修正してほしい。

◎第1章関連事項

- ・修正内容については、事務局案のとおり修正することで差し支えない（全員同意見）。

◎第2章関連事項

- ・戦国期以前の東山道と織田信長が整備した後の東山道ルートが不明確のため、もう少し内容を整理してほしい。また、各時代における街道の名称や概念について、註を追加するなどして記載内容を工夫してほしい。
- ・中世東山道のルートと古代東山道のルートの変遷が不明確と思われる。街道の保存活用計画であるため、その流れはしっかりと整理した上で記載してほしい。
- ・図 1-3「史跡中山道位置図」に中世東山道のルートを示しているが、そのルートが本文と整合しているか確認してほしい。
- ・民間宿泊施設の送迎サービスは現在実施されていないとも聞いている。この点は再度確認してほしい。

◎第3章第3節関連事項

- ・図 3-2 以降の法規制図の「参考資料」が記載がされていないものがあるため、その出典を明確にしてほしい。

◎第4章関連事項

- ・一里塚については「北塚」・「北側」など記載が統一されていないので、統一してほしい。

この場合、特に名称が定まっていなければ位置関係（方位）に「側」を付す記載方法とすれば、新たな呼称を生じる恐れもないと思われる。

- ・構成要素一覧表のうち所管不明となっている要素については、できる限り所管を明らかにすることが望ましい。
- ・構成要素の一覧表と写真の対応が分かりやすくなるよう、双方に共通した番号を付してほしい。
- ・琵琶峠地区における調整が必要な諸要素に、個人所有の工作物（塀）の写真が掲載されているが、当該写真は掲載しないことが望ましい。

3）現状と課題について

資料（別添資料№6）を示して、事務局案を説明。

◎全体について

- ・文書全体の句読点や誤字等について、再度確認・整理してほしい。

◎保存について

- ・十三峠地区は過去の整備箇所であっても洗掘されている部分が多くみられる。現状の整備では景観などは良いが、管理が行いにくい整備となっているため、市として対応を検討してほしい。また、措置が取れなかったとしても方針だけでも示すようお願いしたい。

◎活用について

- ・「周知がなされていない」という記載については、「周知が不十分である」などに表現を変更してほしい。
- ・現状と課題については、解決のための具体的な方策を記載し、実施してほしい。

◎整備について

- ・事務局案のとおり計画へ反映することで差し支えない（全員同意見）。

◎運営・体制について

- ・日吉町側での草刈は年3回行っている。また、大湫町側では草刈のほかにも短い期間での巡視を行っている。その体制についても整理した上で記載してほしい。
- ・史跡全体での所管課の関係性が不明確である。担当所管や運営体制について全体的に可視化を行っていくことが望ましい。
- ・ボランティアガイドについては、事務局機能を今後どうしていくかという課題を関係課や施設と協議中である。協議にはしばらく時間を要する見込みであるが、いずれにしてもスポーツ文化課がそれらの状況が把握できていないので、今後は市役所の関係課での情報共有を意識してほしい。

4）大綱・基本方針について

資料（別添資料№7）を示して、事務局案を説明。

- ・計画策定の主管が教育委員会であるため、学校教育に関する施策においてはより具体的

に記載してほしい。地域学習・ふるさと教育などと史跡の関係についても具体的に記載することが望ましい。

- ・史跡の活用方法や魅力発信については、その対象を市民と市外からの来訪者に分けて記載するよう検討してほしい。

5) 保存管理について

資料（別添資料No.8）を示して、事務局案を説明。

- ・現状変更等の取扱基準の内容については、一度県で内容を確認する必要がある。
- ・ガードレールや電柱の色調については、これまで中山道沿いであっても景観に配慮されていない仕様で設置されたものが多々認められる。今後は関係各課などで情報共有に努め、周辺景観に配慮したものにしてほしい。

4. その他

事務局より次回懇談会は10月もしくは11月での開催できるよう事務局が調整を行う旨を説明。また、文化庁調査官の同席を予定していたが、社会情勢上出席が難しくなる可能性があるため、同席できない場合は事前に指導を受けた上で審議する旨を報告。